

東急不動産ホールディングス（株）

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none"> ● 業種：不動産 ● 事業概要：都市事業・住宅事業・管理事業・仲介事業他 ● 事業規模[任意]：営業収益8,085億円 従業員数20,421人
2.削減目標案 ※定量値公表が難しい場合、定性的説明でも可	<p>＜<u>Scope 1・2の削減目標と削減に向けた取り組み</u>＞ 地球温暖化対策計画(H28.5閣議決定)2030年度目標(2013年度比で業務その他部門約▲40%/家庭部門約▲40%)を念頭に目標値を検討し、保有施設(オフィスビル、商業施設、リゾート施設など)の省エネ化と電力化の再エネ化を推進する。</p> <p>＜<u>Scope 3の削減目標と削減に向けた取り組み</u>＞ 住宅事業における計画建物の省エネ性能向上により、居住時のCO2排出削減に取り組む。またゼネコンとの連携により、建物建設時のCO2排出削減を図る。</p>

東急不動産ホールディングス（株）

項目	内容																									
3.基準年のGHGインベントリ[数値は任意]	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope 1・2・3の排出量の状況 (※割合は必須、グラフを挿入) 	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE1 : 																								
	<table border="1"> <caption>GHG Emissions by Scope</caption> <thead> <tr> <th>Scope</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>Scope 1</td><td>4.8%</td></tr> <tr><td>Scope 2</td><td>21.3%</td></tr> <tr><td>Scope 3-1</td><td>2.5%</td></tr> <tr><td>Scope 3-2</td><td>13.5%</td></tr> <tr><td>Scope 3-3</td><td>2.1%</td></tr> <tr><td>Scope 3-4</td><td>0.01%</td></tr> <tr><td>Scope 3-5</td><td>0.3%</td></tr> <tr><td>Scope 3-6</td><td>0.3%</td></tr> <tr><td>Scope 3-7</td><td>1.2%</td></tr> <tr><td>Scope 3-8</td><td>0.6%</td></tr> <tr><td>Scope 3-11</td><td>53.4%</td></tr> </tbody> </table>	Scope	Percentage	Scope 1	4.8%	Scope 2	21.3%	Scope 3-1	2.5%	Scope 3-2	13.5%	Scope 3-3	2.1%	Scope 3-4	0.01%	Scope 3-5	0.3%	Scope 3-6	0.3%	Scope 3-7	1.2%	Scope 3-8	0.6%	Scope 3-11	53.4%	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE2 :
	Scope	Percentage																								
Scope 1	4.8%																									
Scope 2	21.3%																									
Scope 3-1	2.5%																									
Scope 3-2	13.5%																									
Scope 3-3	2.1%																									
Scope 3-4	0.01%																									
Scope 3-5	0.3%																									
Scope 3-6	0.3%																									
Scope 3-7	1.2%																									
Scope 3-8	0.6%																									
Scope 3-11	53.4%																									
<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE3 : <p>目標の対象セクター： 2.資本財 (SCOPE3の18%) 11.販売した製品の使用 (SCOPE3の72%)</p>																										

東急不動産ホールディングス（株）

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<ul style="list-style-type: none"> ● （移行リスク）パリ協定に対応した「地球温暖化対策計画」に基づく省エネ関連法令の強化により、建築コストの増加が想定される ● （物理リスク）降雨や降雪の変化がリゾート施設の稼動に影響を及ぼすことが懸念される ● （製品・サービス機会）建物の環境性能に対するニーズが高まり、性能向上への投資が付加価値として将来的に評価される可能性がある ● （市場機会）業界のトップランナーとして取り組む姿勢が外部からの企業評価の向上に繋がることが期待される
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none"> ● ESG経営強化の一環として、現行目標（2020年および2030年）を見直し、気候変動対策に対する国際的な動向の変化に即した中長期目標を再設定することを目指している

東急不動産ホールディングス（株）

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none">● ESG経営の具体的手法の一つとして、中長期目標の再設定について社内で議論中
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none">● Scope 1 & 2 の削減において、既存施設における省エネ性能向上と再エネ調達の具体的な手法の検討。● Scope3の大半を占めるカテゴリ11の削減を目標設定化するため、個々のプロジェクトにおけるライフサイクルCO2算出。